

地域リハビリテーション人材育成 導入研修の開催

2月18日(日曜日)、休日の午前中でしたが、地域リハビリテーション人材育成導入研修を、ZOOMを使用し開催いたしました。この導入研修は、【B：地域包括ケア推進コース】(以下B研修)と【C：介護予防推進コース】(以下C研修)の2コースがあります。B研修では、各地域で行われている地域ケア会議の助言者を育成するための研修となっています。

地域ケア会議は、ケアマネージャーが担当しているケースの方において、ケアの進め方に難渋する場合や専門的な意見を求めたい際に、リハビリテーション専門職や薬剤師、管理栄養士などの専門職に助言を求める会議の場になります。地域ケア会議の場においては、私たち言語聴覚士が専門性を十分に活かし、適切な問題提起や助言を行うためのノウハウが必要であり、B研修がそれを学ぶ場となります。福岡県言語聴覚士会では、全国言語聴覚士協会の意向を踏まえたうえで、模擬事例を通して独自の研修を行っております。

今回のB研修には6名の方が受講されました。福岡県内の各圏域において広がりを見ている地域ケア会議の助言者として、来年度よりご活躍頂くこととなります。

一方、C研修は、主に地域住民向けに行われる介護予防事業へ派遣される言語聴覚士の育成研修となります。6名の方が受講されました。介護予防事業は、専門職が集まる地域ケア会議とはまた違い、対象者に一般の住民の方が加わる事業です。私たちが学生時代に学んできたこと、日ごろ臨床などの現場で培ってきた経験、学会や研修会で学んだことを、地域へ還元し、住民の健康寿命を支える事業といえるでしょう。現在、県内では「嚥下」や「聴覚フレイル」など、様々なテーマにそった介護予防事業が広がりを見せています。

今回の研修では、言語聴覚士として地域の介護予防事業に何を提供できるかを考えて頂くグループワークを中心に、様々な意見を交換していただきました。自分とは違うアイデアを持つ受講者同士の会話が聞かれ、様々な考えに触れることができたのではないかと思います。

地域事業において、リハビリテーション専門職への助言者等の派遣を求める声は、確実に増えてきていると考えられます。地域ケア会議や介護予防事業は、私たちの職域を十分に活かし、言語聴覚士を啓発する場ともなり得ます。当研修をまだ受講されていない方は、来年度ぜひこの地域リハビリテーション人材育成研修を受講頂き、一緒に地域の事業を支えて頂きたいと考えています。

福岡県言語聴覚士会、地域包括ケア推進局より情報発信を継続していきます。私たちの手で、地域づくりの一端を担っていきませんか？これからの地域の未来図は皆様のご活躍が必要です。皆さんの力をお貸しください！

福岡県言語聴覚士会 地域包括ケア推進局
ちいサポ委員会